

## 第1回神戸川の潮発電所水利使用に関する調整会議 議事要旨

1. 開催日時 : 平成25年3月29日(金) 13時00分～13時50分
2. 開催場所 : 出雲市役所 1階 くにびき大ホール(出雲市今市町70)
3. 傍聴者 : 33名

### 4. 議事内容

- 1) 会議の進め方について
- 2) 水利使用に係る各自治体の状況について

#### 1市2町の状況に関する主な発言内容

##### ○出雲市長

- ・出雲市では、今回の潮発電所の水利権更新に関し「神戸川再生推進会議」が、江の川への分水をやめて全面的に神戸川へ水を戻すよう住民運動を展開。
- ・市議会では、「神戸川再生推進会議」からの「神戸川再生について」の陳情について、12月、3月議会で審議。これに対して市執行部としては、現段階で水量を全面的に戻すのは困難であり、当面は河川環境の改善に向けて、現実的に対応可能な対策をとるのが最善との考えをお伝えし、議会においては慎重な審議の結果、まずは河川環境の改善を目指すべきとの観点から「趣旨採択」との判断。
- ・本格的な議論は市長選挙、市議会選挙後となるが、市としては、「最大限の水量確保と、現段階で可能な環境改善対策の実施」と、「一定期間の調査の実施とその検証を踏まえた根本的かつ実効性のある対策の実現」の2点を県や中電に強く求める。

##### ○飯南町副町長

- ・町長としての正式なコメントとしては、神戸川再生推進会議が来庁時に「飯南町としては当分の間、静観する。」と発言した。
- ・町議会において、今後の方向としてどのように想定しているかという質問に対して「来島ダム下流の住民意見を聞きながら的確に回答していく。」と回答。
- ・出雲市・美郷町と共同しなければならない。この会議に先立ち、議長は「上流と下流の対立という構図を作ってはいけない」という見解。

##### ○美郷町長

- ・町議会では、潮発電所の存続についての質問に対して「現段階で意見を述べる立場になく、県、国土交通省の動向を静観せざるを得ない。」と回答。
- ・再生可能エネルギーである水力発電の重要性も踏まえ、町としては現状維持を願っている。

- ・これまで分水していただいたことに感謝しているが、ここで「一滴も流させない。」という主張はいかがかと思う。
- ・町としては、適切な解決策を望んでいる。

### 3) その他

#### 中国電力の水利使用更新について

##### ○主な説明内容（中国電力の説明）

- ・国土交通省中国地方整備局長に対し2月28日に、潮発電所水利使用更新の許可申請を提出した。
- ・申請においては、県、関係市町等と調整する必要があるため、来島ダムからの放流量、水利使用期間について、具体的な数値を記載していない。
- ・河川環境との調和を図りながら発電所の安定的運転を継続したい。

##### ○質疑内容（A. は中国電力）

- Q. 県、関係市町との調整を踏まえた流量にするまでの間は、既許可の流量を確保するということか。
- A. 八神、馬木の基準流量を確保するという運用を継続する。
- Q. 専門委員会の報告書によると、まず一定期間水量を増量して調査し、その結果を踏まえて最終的な対策となると理解しているが、県、関係市町との調整を踏まえた流量にすることが、そのファーストステップということで理解してよいか。
- A. そうである。

### 5. 次回について

- ・次回については、地元の関係者の意見をこの調整会議で聞くこととする。
- ・具体的には事務局で調整する。